

工 事 番 号	部 長	課 長	課長補佐	係 長	検 算 者	設 計 者		
設計年度	令和 3 年度		<p>下北方処理分区污水管新設工事 (3-4工区) 仕様書</p> <p>公共下水道事業</p> <p>三原市沼田西町松江</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 20px;">仕 様 書</div>					
施工月日	令和	年					月	日
施工方法	請 負							
工事期間								
工 事 概 要							起 工 理 由	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線延長 (污水補助) L=5.9m 管体延長 管渠工 (開削) φ 150 L=5.1m レジン3号組立マンホール N=1箇所 付帯工 一式 								

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市沼田西町松江 公共下水道事業 下北方処理分区污水管新設工事(3-4 工区)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和3年8月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2021年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
 - ・その他関連規格類

第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第4節 検査

土木工事共通仕様書(令和3年8月広島版)『第3編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

第5節 情報共有システム(設計金額500万円以上が対象)

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用

料を支払うものとする。

- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第6節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第2章 施工条件

第1節 工程

1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物（水道管、ガス管、電力設備などの埋設物あり）
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）
移設時期	必要に応じて、別途協議するものとする。
提出書類	「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

第2節 用地

- 1 借地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第3節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）

調査内容	柱，屋根，壁，基礎，建具等の傾斜，損傷状況
範囲	別途協議による。

第4節 安全対策

1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は，開削工事2（人／日）を見込んでいる。

第5節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路 特に指定しない。

使用期間 工事施工期間

使用時間 8時30分～17時

工事中・後の処置 随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第6節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第7節 仮設工

湧水等により、見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は、任意仮設についても設計変更することができる。

ただし、変更しようとする者は、見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに、適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し、監督員と協議すること。

第8節 管内テレビカメラ調査

管内テレビカメラ調査については、下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（平成25年6月社団法人日本下水道協会）を準拠し実施すること。

第9節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和3年8月広島版）『第1編 1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- （1）原因調査 監督員と協力して行なうものとする。
- （2）補償交渉 監督員と協力して処理解決に当るものとする。
- （3）応急処置 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。
- （4）補償費用負担割合 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。

第6章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
管路施設(開削工法)_補助	ダクタイル鋳鉄管 150mm	式	1	レベル1
管きょ工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3
鋳鉄管(材料)		式	1	レベル4
鋳鉄管(布設)		m	5.1	レベル4
管基礎工		式	1	レベル3
砂基礎	【再生砂】	m	5.1	レベル4
マンホール工		式	1	レベル2
組立マンホール工		式	1	レベル3
組立レジン3号マンホール		箇所	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		式	1	レベル4

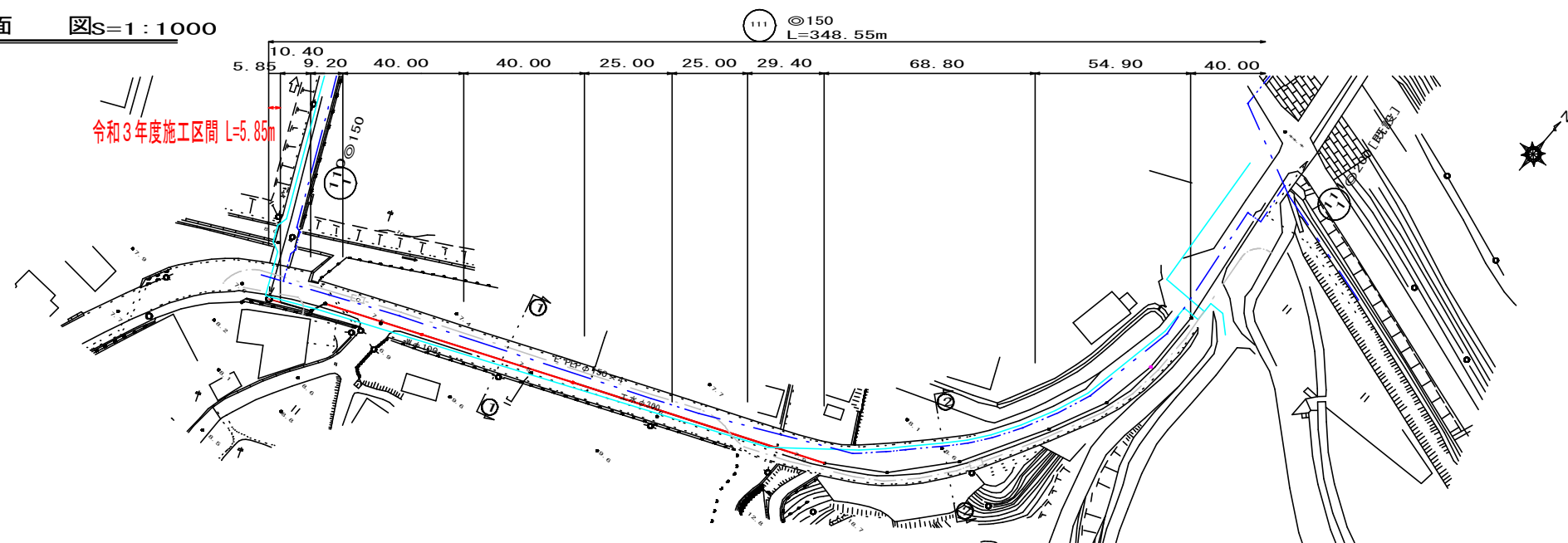
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
舗装版破碎		m2	35	レベル4
殻運搬処理		式	1	レベル4
舗装仮復旧工		式	1	レベル3
下層路盤(歩道部)		m2	12	レベル4
表層(歩道部)		m2	12	レベル4
付帯工(本復旧)		式	1	レベル2
舗装復旧工		式	1	レベル3
不陸整正		m2	24	レベル4
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン13 t=3cm	m2	24	レベル4
管路施設(立抗)補助		式	1	レベル1
立坑工	2500mm	式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
鋼製ケーシング式土留工及び土工		式	1	レベル3
鋼製ケーシング		式	1	レベル4
管路路面覆工		式	1	レベル3

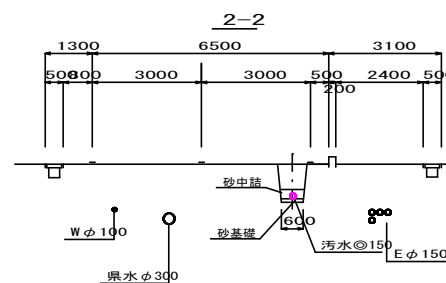
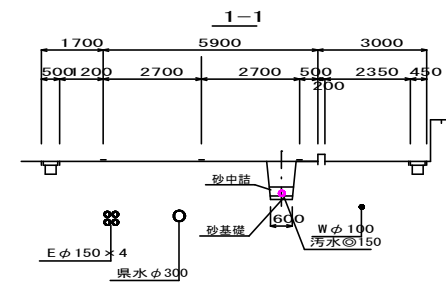
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
覆工		式	1	レベル4
仮設工 補助		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
仮設工		式	1	レベル3
交通誘導員		式	1	レベル4
直接工事費				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
仮設材運搬費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				

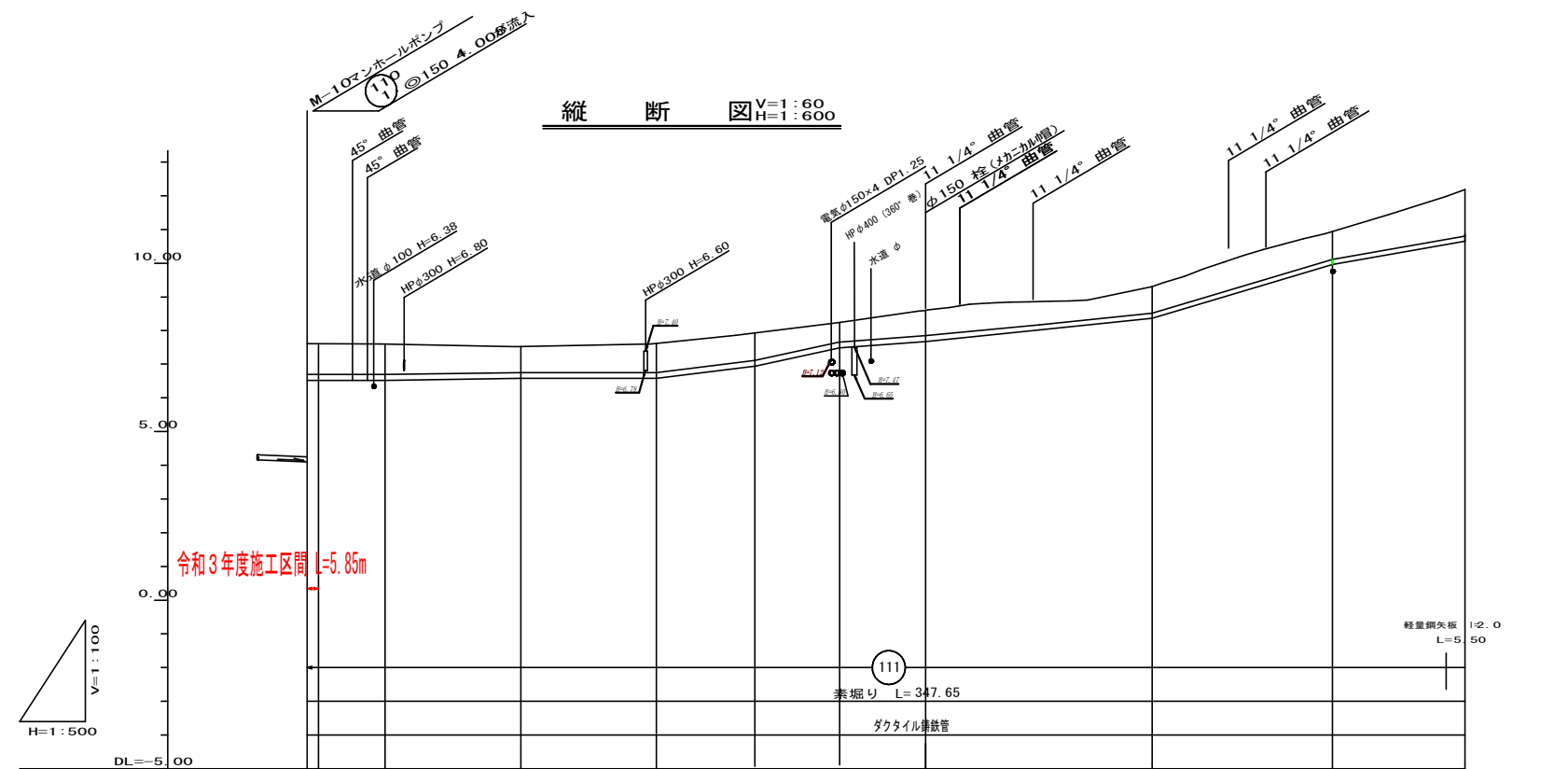
平面図 S=1:1000



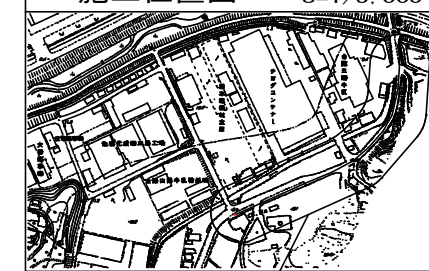
横断図 S=1:100



縦断図 V=1:60
H=1:600



施工位置図 S=1/5,000



管番号	管径	マンホール番号	工法	延長	
				補助	単独
111	φ150	M-10-M-10-S.65	掘削・埋戻	5.85m	
計				5.85m	

令和3年度 公共下水道事業(汚水)			
工事名	下北方処理分区分水新設工事(3-4工区)		
工事場所	三原市沼田西町松江		
図面番号	縮尺	図示	
平面図・縦断図・横断図			
三原市			

管径 (mm)	DIP150 圧送										既設之切管 φ200 L=0.6
	勾配 (%)	LEVEL	1.50	LEVEL	14.40	15.60	12.00	9.80	32.00	13.00	
区間距離 (m)	5.85	19.60	40.00	40.00	25.00	25.00	29.40	68.80	54.90	34.50	5.50
地盤高	7.62	7.62	7.58	7.50	7.61	7.87	8.10	8.62	9.31	10.93	11.98
土被	0.94	0.94	0.90	0.76	0.82	0.87	0.77	0.61	0.70	0.78	1.26
管底高	6.520	6.520	6.520	6.580	6.580	6.940	7.330	7.682	8.356	10.113	10.561
掘削深	1.21	1.21	1.17	1.03	1.09	1.04	0.96	0.88	0.97	1.05	1.54
追加距離	348.50	342.70	323.10	283.10	243.10	218.10	193.10	163.70	94.90	40.00	5.50
区間距離	5.85	19.60	40.00	40.00	25.00	25.00	29.40	68.80	54.90	34.50	5.50

— 参 考 資 料 —

令和 3 年度

下北方処理分区污水管新設工事(3-4工区)

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-04.03.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 31 下水道工事 (2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(開削工法)_補助 グライル鑄鉄管 150mm	1	式			Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)	6	m3			SG1D0001002 00 単第0 -0001 表
管路埋戻	1	式			Y1101010102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	4	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0003 表
機械投入埋戻工(バックホウ)	0.8	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土処理	1	式			Y1101010103レベル4
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)	1	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
受け入れ費 砂質土,礫質土	1	m3			F000000006 00
管布設工	1	式			Y11010102 レベル3
鋳鉄管(材料)	1	式			Y1101010210レベル4
ダクタイル鋳鉄管 K形 150 3種	1	本			F0012 00
ダクタイル鋳鉄管 単管1号 150	1	個			F0013 00
特殊押輪	1	個			F0014 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋳鉄管（布設）					Y1101010210レベル4
	5.1	m			
鋳鉄管吊込み据付（機械施工） 呼び径 150mm					SQ040 00
	5.1	m			単第0 -0008 表
鋳鉄管切断 パイプ切削切断機使用 呼び径： 150mm					SQ140 00
	1	口			単第0 -0010 表
管基礎工					Y11010103 レベル3
	1	式			
砂基礎 【再生砂】					Y1101010301レベル4
	5.1	m			
砂基礎工(機械施工)					SG1D0019002 00
	0.3	m3			単第0 -0011 表
再生砂					T0249 00
	0.4	m3			
マンホール工					Y110102 レベル2
	1	式			
組立マンホール工					Y11010202 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
組立レジン3号マンホール					Y1101020204レベル4
	1	箇所			
組立3号マンホール 3号(内径1500mm) 深さ5m超～6m以下					SG1D0055002 00
	1	箇所			単第0 -0012 表
汚水用人孔鉄蓋式(デザイン入り・密閉ロック式 転落防止安全梯子付, 900用(親子蓋式))					F00000023 00
	1	組			
変形防止調整金具					F00000024 00
	1	組			
頂版(レジン3号組立マンホール, 1種) H160					F00000011 00
	1	個			
調整リング(レジン3号組立マンホール, 1 H50)					F00000017 00
	1	個			
直壁(レジン3号組立マンホール, 1種) H1800					F00000009 00
	2	個			
中間スラブ(レジン3号組立マンホール, F					F00000013 00
	1	個			
取付壁(レジン3号組立マンホール, 2種) H1500					F00000008 00
	1	個			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
底版(レジン3号組立マンホール, 2種) H110	1	個			F00000007 00
付帯工	1	式			Y110106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y11010601 レベル3
舗装版切断	34	m			Y1101060101 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	34	m			SPK21040302 00 単第0 -0013 表
舗装版破碎	35	m2			Y1101060102 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	35	m2			SPK21040301 00 単第0 -0014 表
殻運搬処理	1	m3			Y1101060105 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	1	m3			SPK21040138 00 単第0 -0015 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
受け入れ費 As塊	3	t			F000000012 00
舗装仮復旧工	1	式			Y11010604 レベル3
下層路盤(歩道部)	12	m2			Y1101060403 レベル4
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	12	m2			SPK21040226 00 単第0 -0016 表
表層(歩道部)	12	m2			Y1101060409 レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上厚30mm	12	m2			SPK21040237 00 単第0 -0017 表
付帯工(本復旧)	1	式			Y110106 レベル2
舗装復旧工	1	式			Y11010603 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
不陸整正	24	m2			Y1101060301 レベル4
不陸整正 補足材料無し	24	m2			SPK21040224 00 単第0 -0018 表
表層(歩道部) 再生密粒度アス13 t=3cm	24	m2			Y1101060309 レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上厚40mm	24	m2			SPK21040237 00 単第0 -0019 表
管路施設(立抗)補助	1	式			Y1102 レベル1
立坑工 2500mm	1	式			Y110202 レベル2
管路土工	1	式			Y11020201 レベル3
管路掘削	1	式			Y1102020101 レベル4
立坑掘削工(クラムシェル)	28	m3			SG1D0001004 00 単第0 -0020 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路埋戻					Y1102020102レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	16	m3			単第0 -0003 表
発生土処理					Y1102020103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	28	m3			単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
受け入れ費 砂質土					F0000006090 00
	28	m3			
鋼製ケーシング式土留工及び土工					Y11020204 レベル3
	1	式			
鋼製ケーシング					Y1102020401レベル4
	1	式			
ケーシング撤去工 呼び径 2,500mm					SG1D0602004 00
	1	箇所			単第0 -0022 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ケーシング切断工	13.6	m			SG1E0602003 00 単第0 -0024 表
経費対象外					#0046
スクラップ AL-H1	-1.7	t			F0000006110 00
管路路面覆工	1	式			Y11020207 レベル3
覆工	1	式			Y1102020701 レベル4
円形覆工板設置工 呼び径 2,500mm	1	箇所			SG1D0609001 00 単第0 -0025 表
円形覆工板撤去工 呼び径 2,500mm	1	箇所			SG1D0609002 00 単第0 -0026 表
円形覆工板開閉工 呼び径 2,500mm	1	回			SG1D0609003 00 単第0 -0027 表
円形覆工板賃料等	1	式			SG1D0609004 00 単第0 -0028 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工 補助					Y1101 レベル1
	1	式			
仮設工					Y110101 レベル2
	1	式			
仮設工					Y11010101 レベル3
	1	式			
交通誘導員					Y1101010101 レベル4
	1	式			
交通誘導警備員B					R0369 00
	7	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材運搬費					YZZ04001004レベル4
	1	式			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10.6km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0029 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0003 表

頁0 -0016

1

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3			C=6 材料別途		

施工単価表

タンパ締固め

SPK21040020

単第0 -0004 表

機械構成比: 1.37% 労務構成比: 97.25% 材料構成比: 1.38% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,422.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.37%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.38%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0005 表

頁0 -0018

1

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.300	m3			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3 E=126.3 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			C=2 再生砂		

施工単価表

ダンプトラック運転
011 オンロード ディーゼル

SM2203010

単第0 -0007 表

1

日 当り

4t積級

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	34.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=2 4t積級 D=34 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

施工単価表

頁0 -0026

舗装版切断

SPK21040302

単第0 -0013 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.24%

労務構成比:

54.57%

材料構成比: 39.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

562.41000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	4.22%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.35%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎

SPK21040301

単第0 -0014 表

アスファルト舗装版

障害無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 9.68%

労務構成比:

82.20%

材料構成比:

8.12%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

167.88000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.68%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	28.85%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	28.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	25.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.12%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1	アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り		B=1 D=1 G=1	障害無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)	

施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 19.75% 労務構成比: 70.85%

SPK21040138

DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)

材料構成比: 9.40%

単第0 -0015 表

1

m3 当り

標準単価:

3,688.60000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.75%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	70.85%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.40%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=20 運搬距離4.5km以下(3.5km超)		

施工単価表

頁0 -0030

下層路盤(歩道部)

SPK21040226

単第0 -0016 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 6.11% 労務構成比:

70.83%

材料構成比: 23.06%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

722.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.17%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.77%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.99%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	21.10%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00008 TTPT00352
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.91%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

下層路盤(歩道部)

SPK21040226

単第0 -0016 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 6.11%

労務構成比:

70.83%

材料構成比: 23.06%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

722.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0032

表層(歩道部)
平均幅員1.4m以上

SPK21040237

単第0 -0017 表

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 2.95% 労務構成比: 22.79%

材料構成比: 74.26%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,327.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルトフィニッシャ クローラ型 舗装幅1.4~3.0m	2.22%		アスファルトフィニッシャ クローラ型 舗装幅1.4~3.0m		MTPC00052 MTPT00052
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.42%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	8.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.91%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.86%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	1.97%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生細粒度(13)	70.93%		細粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00025 TTPT00294

施工単価表

表層(歩道部)
平均幅員1.4m以上

SPK21040237

単第0 -0017 表

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 2.95% 労務構成比: 22.79%

材料構成比: 74.26%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,327.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.96%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.33%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上 C=10 再生細粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0034

不陸整正
補足材料無し

SPK21040224

単第0 -0018 表

1

m2 当り

機械構成比: 25.67% 労務構成比: 67.46%

材料構成比: 6.87%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

112.53000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	12.66%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	9.81%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	3.20%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
運転手(特殊)	42.61%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.11%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.87%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0036

表層(歩道部)
平均幅員1.4m以上

SPK21040237

単第0 -0019 表

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 2.95% 労務構成比: 22.79%

材料構成比: 74.26%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,327.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルトフィニッシャー クローラ型 舗装幅1.4~3.0m	2.22%		アスファルトフィニッシャー クローラ型 舗装幅1.4~3.0m		MTPC00052 MTPT00052
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.42%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	8.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.91%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.86%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	1.97%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生細粒度(13)	70.93%		細粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00025 TTPT00294

施工単価表

表層(歩道部)
平均幅員1.4m以上

SPK21040237

単第0 -0019 表

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 2.95% 労務構成比: 22.79%

材料構成比: 74.26%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,327.70000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.96%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.33%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上 C=10 再生細粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=40 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)					

施工単価表

ケーシング撤去工
呼び径 2,500mm

SG1D0602004

単第0 -0022 表

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.11	人			
特殊作業員	0.11	人			
普通作業員	0.11	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	0.87	時間			単第0-0023 表
ケーシング切断工	13.606	m			単第0-0024 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=4 呼び径 2,500mm			B=1.438	ケーシング撤去長(m)	

切管調書

名 称	甲切管	乙 切 管			切管延長	残管延長	管切断・溝切	管溝切	管切断	
DIP φ 150 1本当たり 5.00m		4.132			4.132	0.868			1	
	計		直管本数 1 本			4.13m	0.87m			1口

市道(歩道)
アスファルト(機械)

路線名	人孔番号	人孔管延長(m)	舗装切断工		路盤工		表層工		
			t = $\frac{m}{0.03}$	m	t = $\frac{m}{0.10}$	m ²	A=舗装幅員×延長	m ²	
111	10 ~ 10+5.85	5.85	2 × 5.85	11.70	0.9 × 5.85	5.3	2.35 × 5.85	13.7	
	~								
	~								
	~								
	~								
	~								
	~								
	~								
	~								
	~								
	~								
	~								
	~								
	~								
	~								
	~								
計		5.85		11.70		5.3		13.7	
既設舗装取壊し(BH 0.28)			13.7 m ²	仮舗装取壊し(BH 0.28)			5.3 m ²	b < 1.4 = m ² 1.4 ≤ b ≤ 3.0 = 13.7 m ² 3.0 < b = m ² (b=施工幅)	
既設舗装取壊し(人力)			m ²	仮舗装取壊し(人力)			m ²		
舗装殻処分工 = 13.7 × 0.03 = 0.4 m ³									

レジン3号(組立)マンホール工(汚水)数量集計表

レベル1(工事区分)

管路

場所名: / 工事名:

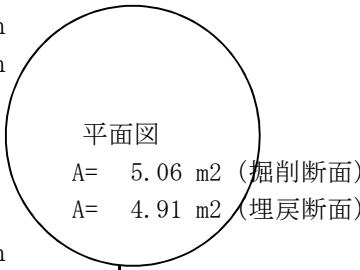
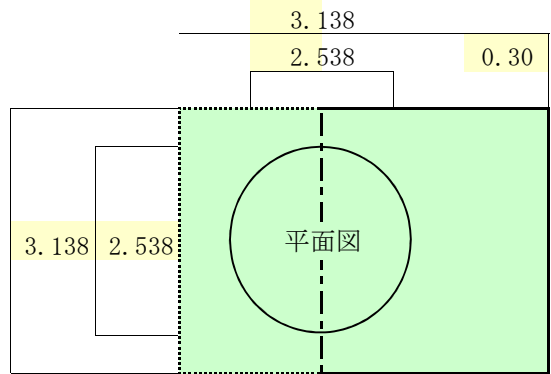
レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	数量区分1	数量区分2	単位	合計数量	補助	設計 数量	単独	設計 数量	内訳数量表別紙
組立マンホール	組立1号 マンホール(汚水)		組立マンホール設置費	マンホール鉄蓋(丸型親子蓋600×900、T-14) 市規定品	組	1	1	1			内訳数量表
				マンホール鉄蓋(丸型親子蓋600×900、T-25) 市規定品	組						
				調整リング H=50mm	組	1	1	1			
				調整リング H=100mm	個						
				調整リング H=150mm	個						
				組立3号レジンマンホール(頂版) H=160mm	個	1	1	1			
				組立3号レジンマンホール(直壁ブロック) H=600mm	個						
				組立3号レジンマンホール(直壁ブロック) H=900mm	個						
				組立3号レジンマンホール(直壁ブロック) H=1200mm	個						
				組立3号レジンマンホール(直壁ブロック) H=1500mm	個						
				組立3号レジンマンホール(直壁ブロック) H=1800mm	個	2	2	2			
				組立3号レジンマンホール(直壁ブロック) H=2400mm	個						
				組立3号レジンマンホール(躯体ブロック) H=900mm	個						
				組立3号レジンマンホール(躯体ブロック) H=1200mm	個						
				組立3号レジンマンホール(躯体ブロック) H=1500mm	個	1	1	1			
				組立3号レジンマンホール(躯体ブロック) H=1800mm	個						
				組立3号レジンマンホール(躯体ブロック) H=2400mm	個						
				組立3号レジンマンホール(底版)	個	1	1	1			
				マンホール用可とう継手(VU管) VUφ150mm	個	1	1	1			
				ブロック据付工(組立式)3号レジン 人孔深7.0m以下	箇所	1	1	1			
				調整モルタル工(無収縮モルタル)平均調整厚 t=25mmまで	組	1	1	1			
				調整モルタル工(無収縮モルタル)平均調整厚 t=45mmまで	組						
				調整モルタル工(無収縮モルタル)平均調整厚 t=69mmまで	組						
				流入口削孔費	組立3号レジンマンホール削孔費 塩ビ管φ150mm	箇所	1	1	1		
					組立3号レジンマンホール削孔費 ダクタイル鋳鉄管φ200mm	箇所					
					組立3号レジンマンホール削孔費 鉄筋コンクリート管φ400mm	箇所					
				マンホール底部費	底部工組立3号レジン(汚水)VPφ150mm インパートなし	箇所					
					底部工組立3号レジン(汚水)VPφ150mm インパートあり	箇所					
底部工組立3号レジン(汚水)VPφ150mm インパートのみ	箇所										

φ2500 鋼製ケーシング立坑数量集計表

No. M-10 立坑築造工

名 称	単 位	当 初	変 更	備 考
圧入掘削積込み工	m			
粘性土：N≤5	m			
粘性土：5<N≤30	m			
砂質土：N≤30	m			
砂質土：30<N≤50	m			
礫質土：N≤30	m			
礫質土：30<N≤50	m			
ケーシング溶接工	箇所			
ケーシング引上げ工	m			
ケーシング撤去工	箇所	1.00		
底盤コンクリート工	m ³			
圧入掘削設備				
機械設置撤去工	回			
機械退避・再設置工	回			
鋼製ケーシング存置	m			
刃先	個			
鋼製ケーシング（全長）	m			
スクラップ	t	1.742		
仮設ケーシング損料等	式			
立坑水替え				
うわ水排水工	箇所			
泥水運搬処理				
スライム処理工	箇所			
泥水処分工	m ³			
円形覆工板				
円形覆工板設置工	回	1		
円形覆工板撤去工	回	1		
円形覆工板開閉工	回			
立坑埋戻し工	m ³	15.500		
発生土処分工	m ³	27.990		

No. M-10 立坑築造工 (土工)

略図及び摘要		名称		計算式	数量																																
<p>立坑寸法</p> <p>外径L2= 2.538 m</p> <p>内径L1= 2.500 m</p>  <p>平面図 A= 5.06 m² (掘削断面) A= 4.91 m² (埋戻断面)</p> <p>圧入掘削深さH= 7.062 m</p> <p>立坑深さH= 5.562 m</p> <table border="1" data-bbox="504 550 963 821"> <tr> <td>0.03</td> <td>舗装</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>路盤</td> <td>0.200</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>断面図</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>埋戻土</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>5.362</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7.032</td> <td>クラムシェル</td> <td></td> <td>基礎</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1.500</td> <td></td> </tr> </table> <p>掘削 ← → 埋戻し</p>		0.03	舗装				路盤	0.200									断面図				埋戻土			5.362		7.032	クラムシェル		基礎			1.500		取壊し工	切断 面積 ガラ	$2.538 \times 4 =$ $2.538 \times 2.538 =$ $(2.538 \times 2.538) \times 0.03 =$	10.15m 6.44m ² 0.19m ³
0.03	舗装																																				
	路盤	0.200																																			
			断面図																																		
			埋戻土																																		
		5.362																																			
7.032	クラムシェル		基礎																																		
		1.500																																			
		掘削土量	機械 バックホウ 機械 クラムシェル 人力	$5.06 \times 0.000 =$ $5.06 \times 5.532 =$ $5.06 \times 0.00 =$	27.99m ³ 計 27.99m ³																																
		埋戻土量	基礎部 人力 埋戻し土	$4.91 \times 5.362 - (10.83 + 0.00) =$	15.50m ³ 計 15.50m ³																																
		控除土量	マンホール 管渠 他	計 計 計	10.83m ³																																
		残土処理			27.99m ³																																
 <p>3.138 2.538 0.30</p> <p>3.138 2.538</p> <p>平面図</p> <p>仮復旧 ← → 本復旧</p> <table border="1" data-bbox="504 1268 1041 1436"> <tr> <td>0.03</td> <td>仮舗装</td> <td>舗装</td> <td>0.03</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上層路盤</td> <td></td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>0.20</td> <td>下層路盤</td> <td></td> <td>0.10</td> </tr> </table>		0.03	仮舗装	舗装	0.03		上層路盤		0.10	0.20	下層路盤		0.10	舗装復旧	仮復旧 本復旧 影響部 上層路盤工 t=10cm	$2.538 \times 2.538 =$ $3.138 \times 3.138 =$ $9.850 - 6.440 =$ $2.538 \times 2.538 =$	6.44m ² 9.85m ² 3.41m ² 6.44m ²																				
0.03	仮舗装	舗装	0.03																																		
	上層路盤		0.10																																		
0.20	下層路盤		0.10																																		
		取壊し	切断 面積 仮復旧部 影響部 ガラ 路盤掘削・残土	$(3.138 + 3.138) \times 2 =$ $(6.44 \times 0.03) + (3.41 \times 0.03) =$ $(6.44 \times 0.10) =$	12.55m 6.44m ² 3.41m ² 0.30m ³ 0.64m ³																																
市道		圧入掘削積込工	砂質土 N≤30 30<N≤50 粘性土 N≤5 5<N≤30 礫質土 N≤30 30<N≤50																																		
				圧入掘削深 計																																	

No. M-10 立坑築造工

略図及び摘要		名称		計算式	数量	
		区分	種別	単体量 × 延長		
※埋戻土除 区分 舗装 0.20 ↑ 埋戻土 5.36 ↓ 基礎 3号レジマンホール H= 5.562 m	1.14	B	蓋・受枠	1.021 × 0.000		
		B	調整金具	1.021 × 0.000		
		B	調整リング	1.021 × 0.000		
		B	頂版	2.164 × 0.152	0.33	
		B	直壁	2.011 × 1.800	3.62	
		B	直壁	2.011 × 1.800	3.62	
		B	直壁	2.087 × 0.000		
		B	直壁	2.011 × 0.000		
		B	躯体	2.011 × 1.500	3.02	
		B	底版	2.164 × 0.110	0.24	
		B				
		B				
		B				
		B				
		立坑基礎工	底スラブ		7.40m3	
		管基礎及び調整CON		(0.000×0.000)×0.000= (0.000×0.000)×0.000=		
		副管工				
		副管控除		(0.000 ² ×π/4)×0.00=		
		スクラップ	φ 200	(0.322 ² ×π/4)×149.2/1000×2=		
			φ 150	(0.265 ² ×π/4)×149.2/1000=	0.008t	
			ケーシング撤去	1.438×1,206.0/1000=	1.734t	
			計		1.742t	
		φ 2,500 圧入掘削積込日数の計算				
		圧入掘削土質	掘削長	1m当施工時間 (h)	掘削時間	
		砂質土	N≤30	5.712	1.5	8.6
			30<N≤50		1.8	
		粘性土	N≤5	1.300	1.5	2.0
			5<N≤30		1.8	
		礫質土	N≤30		1.6	
			30<N≤50		1.9	
		圧入掘削所要時間 計				10.0 h

蓋・受枠	0.120	m
調整金具	0.022	m
調整リング	0.050	m
頂版	0.160	m
直壁	1.800	m
直壁	1.800	m
直壁		m
直壁		m
躯体	1.500	m
底版	0.110	m

管基礎工	VP φ 150	VP φ 150		
基礎延長	B	h1	h2	h3
上流側				
下流側				

位置図

